

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月28日

計画の名称	埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出（防災・安全）緊急対策											
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	埼玉県, 行田市, 春日部市											
計画の目標	埼玉県では、豪雨の頻発・激甚化、市街化の進展に伴う雨水流出量の増大や流域の保水・遊水機能の低下により、河川への雨水流出量が増加しており、洪水処理能力が不足する区間を中心に甚大な浸水被害が発生している。 このようなことから、時間雨量50mm程度の降雨による洪水を安全に流下させるため河川改修、治水施設の更新、流域の雨水流出抑制施設の設置を進めることにより浸水被害の早期軽減を図るとともに、 河川情報の提供等による避難体制を構築し、県民の安心・安全な生活を確保する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	8,860	A	8,860	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6年度末	R8年度末
1	令和元年東日本台風と同規模の降雨に対し、河川改修や調節池の整備を着実に進め、床上浸水被害を受ける家屋数を400棟減少させることを目指す。 5箇年の河川整備により床上浸水被害の解消が想定される家屋数	0棟	棟	400棟

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
通常計画との合算（400棟/2089棟）																

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
河川事業	A03-001	河川	一般	埼玉県	直接	-	広域河川(1)	-	大落古利根川広域河川改修事業(新方川)	橋梁、護岸、樋管、用地、補償、測試	春日部市、越谷市						2,350	-	-	
	A03-002	河川	一般	埼玉県	直接	-	広域河川(1)	-	元荒川広域河川改修事業(忍川)	調節池整備、築堤、掘削、護岸(L=1.3km)、用地、補償、測試	行田市						5,750	7.6	-	
	A03-003	河川	一般	行田市	直接	-	流貯(1)	-	中川・綾瀬川流域貯留浸透事業	貯留施設設置	行田市						358	-	-	
												小計						8,458		
												合計						8,458		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月28日

計画の名称	埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出（防災・安全）緊急対策											
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	埼玉県, 行田市, 春日部市											
計画の目標	埼玉県では、豪雨の頻発・激甚化、市街化の進展に伴う雨水流出量の増大や流域の保水・遊水機能の低下により、河川への雨水流出量が増加しており、洪水処理能力が不足する区間を中心に甚大な浸水被害が発生している。 このようなことから、時間雨量50mm程度の降雨による洪水を安全に流下させるため河川改修、治水施設の更新、流域の雨水流出抑制施設の設置を進めることにより浸水被害の早期軽減を図るとともに、 河川情報の提供等による避難体制を構築し、県民の安心・安全な生活を確保する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	8,860	A	8,860	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6年度末	R8年度末
1	令和元年東日本台風と同規模の降雨に対し、河川改修や調節池の整備を着実に進め、床上浸水被害を受ける家屋数を400棟減少させることを目指す。 5箇年の河川整備により床上浸水被害の解消が想定される家屋数	0棟	棟	400棟

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
通常計画との合算（400棟/2089棟）																

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
その他総合的な治水事業	A08-004	総合治水	一般	春日部市	直接	-	準用	-	利根川圏域総合流域防災事業(安之堀川)	橋梁	春日部市						402	1.79	-	
												小計						402		
											合計						402			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出（防災・安全）緊急対策

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 目標が河川整備計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業練度、住民等との合意形成が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業量や事業費の配分は実現可能なものとなっている。	○

埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出（防災・安全）緊急対策

計画の名称	1 埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出（防災・安全）緊急対策	
計画の期間	令和4年度 ～ 令和8年度（5年間）	交付対象 埼玉県、春日部市、行田市

